

## 認定 特定非営利活動法人 リハビリサポートセンターACTIPS

所在地：市川市菅野 5 丁目 11 番 16 号 電話：047-712-5635

H P : <http://actips.jp/>



こころの病や障がいを持っていても地域であたり  
まえに暮らしていけることを目指して

### ◆ACTIPS の活動

1. **ACT チーム**：重い精神障がいを持つ方が、入院せず、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう医療・生活・就労等を包括した支援、2. **FUN チーム**：若者を中心とした、ひきこもりや発症後まもない方たちへの柔軟な訪問支援、3. 日本の精神医療保健福祉の発展に寄与するためのセミナー開催、広報活動などを柱とした活動を行っている。訪問支援を行うチームは、看護師、ソーシャルワーカーなど様々な職種の専門家で構成され、隣接する診療所の医師と一緒に、医療と福祉のサービスを一体化し提供している。

### ◆認定を取得しようとしたきっかけ

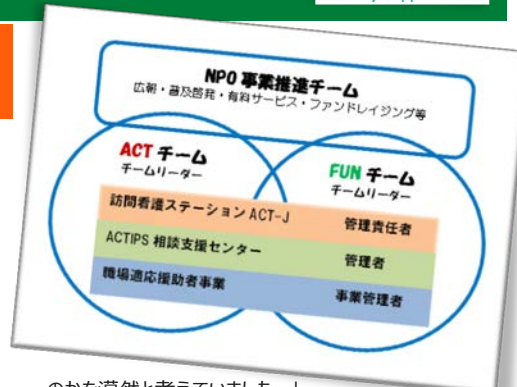
「NPO 法人として、包括型地域生活支援プログラム（ACT：アクト）の事業運営で精一杯。視点が狭くなっていったように思います。NPO のメリットは「公益的であること」「地域に開かれていること」を振り返り、もっと本来的な意義を追求する必要があるのではないか、自分たちの活動をどうやって知ってもらえば良い

### ◆認定取得の準備

「NPO 法人の事務を初めてしたので、何がわからないかわからない状態でしたが、県の担当の方が丁寧に対応してくださり、認定取得を応援してくださいと感じることができ、安心して準備ができました。振り返ってみると、NPO 法人としてのあるべき事務処理を教えていただいたことで、これから自信をもって事務処理を進めていくことができるように思います。」  
（事務担当者より）

### ◆認定取得がもたらしたもの

認定を取る過程で、自分たちの視点が大きく変わったとのこと。利益関係のない人いかに活動を理解してもらえるか、情報の発信力が常に話題にのぼるようになったそうです。  
「現在、名刺やパンフレット、ホームページを再度リニューアルしようと考えていますが、私たちの活動を知りたい、応援したい、と思っている人と、どうやって出会えるようになるか」「寄付者のメリットや使い勝手を考えて、ホームページ上で寄附のクレジット決済ができるようにしたい、などアイデアが広がります」  
メンバーの視点は、どんどん外向きになっているようです。



のかを漠然と考えていました。」

### ◆プロボノの手助け

「そんな時に「プロボノ（※）」の IT やマーケティングの専門家からボランティアでホームページの作成支援を受けることができました。外部から見ると医療や福祉の分野は専門的な言葉が飛び交い、よく分らない。と言う指摘を受けるとともに、分野を超えて人とつながる新鮮な感覚を体感し、ACTIPS の社会に対する使命を改めてみなが共有することができました。病名がつかず、医療や福祉のサービスを受けられずにひきこもってしまう人も、社会の一員として、その人なりの強みを活かして生活できる環境を作っていきたい。

### ◆これから認定を目指す団体の方々へのメッセージ

「国や地方自治体も財源が限られていて、「やって欲しい」と要望をしているだけでは実現できない時代になっているように思います。世の中の課題をスピード感と柔軟性をもって対処できる一つが NPO という存在ではないでしょうか。NPO 同士が横につながり、社会を盛り立てていきたい。そのためにもそれぞれが信頼性を増すことも大事だと思います。認定を取ることはその手段の一つ。臆することなくトライして欲しいと思います。」



## ACTIPS について

法人名の「ACTIPS」は、重い精神障がいを抱える人たちが、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるような支援を行うプログラム「ACT（Assertive Community Treatment）」と、個別職業紹介と支援「IPS（Individual Placement and Support Employment Program）」を融合させたもので、法人の社会的意義や使命を込めた。「訪問看護ステーション ACT-J」と相談支援事業所「ACTIPS 相談支援センター」を運営し、市川市内を中心にサービスを提供。

### 【事業内容】

1. ACT チームと FUN チームの対象者に訪問サービスを提供する。
2. 医療および福祉制度の適応外の支援を有料サービスとして提供する。
3. ACT をはじめとした訪問支援の普及につながる研修や講演会などを企画または参加し、全国的な普及啓発に努める。
4. 市川市および千葉県地域精神保健福祉システム作りに積極的に関わる。

ACTIPS の存在意義を広く知ってもらい応援して欲しい。応援してくれる方々のメリットも明確にしたいために「認定を取得しよう」と意見がまとまりました。」  
（※プロボノとは、ビジネススキルや専門知識を活かして、社会的課題解決に取り組む非営利組織を支援する人たち <http://www.servicegrant.or.jp/>）

## ACTIPS のこれから

訪問看護ステーション ACT-J を中心に事業を行う傍ら、2016 年 9 月に初めての主催セミナーを開催し、全国に活動を広める一つのステップを踏み出した ACTIPS。今後は、市川市と協力しながらメンタルヘルスへの理解を広げる取組みを市内で行うことを検討していきたいとのこと。

「実は市川市はメンタルヘルスの業界では、全国のモデル市であり先進市なんです。市川市がすすめる「暮らしやすい街づくり」にも必ずつながると思います。もっとアピールしても良いのではないかと思います。」と市川の新たな魅力を教えていただきました。

（力強いコメントを下された ACTIPS のみなさん）

- ☆ 上田昌広（精神保健福祉士・社会福祉士）
- ☆ 足立千啓（作業療法士・精神保健福祉士）
- ☆ 下平美智代（看護師・心理学博士）
- ☆ 服部由美子（事務担当）